

会議所4月の動き

- 3日(木)・第10回全国「花嫁人形」合唱コンクール実行委員会監査会
- 4日(金)・北陸職業能力開発大学校附属新潟職業能力開発短期大学校入校式
・下越地区商工会議所専務理事会議及び送別会(～5日)
- 7日(日)・平成20年度新潟県理容生活衛生同業組合新発田支部定期総会
・正副会頭会議
・新発田市商工観光振興協議会事務局会議
- 8日(火)・平成20年度八日会総会
- 10日(木)・(株)しばたショッピングセンター店舗運営管理協議会
- 11日(金)・南魚沼市議会議員視察
- 12日(土)・登録有形文化財「石泉荘」・登録証取付式
- 13日(日)・新発田食品工業団地協同組合第9回「食品団地DE春まつり」オープンセレモニー
- 15日(火)・雇用協議会事務局会議
- 16日(水)・財団法人新発田市まちづくり振興公社賛助会員親睦会
・日商委員会16日～17日
- 17日(木)・コメリパワー新発田店 竣工式
- 18日(金)・第1回小規模企業振興委員連絡会議
- 22日(火)・サービス部会役員会
・藤田前会頭の慰労会
- 23日(水)・(株)マルフデ「アートホール桜」竣工式
・業務改善セミナー
- 24日(木)・社団法人新潟県商工会議所連合会第1回運営委員会 及び新旧専務理事歓迎会
- 25日(金)・新発田地区食肉組合通常総会
- 28日(日)・新発田市商店会連絡協議会

長田渚左の スポーツツタイル

大きな声では言えませんが、北京五輪を数カ月後に控えた今、現時点でメダルの期待が大きい選手は女子ばかりです。特にマラソンの代表は、野口みずき選手、土佐礼子選手のベテランキャリア選手に加えて、新星・中村友梨香選手という、三者三強のベストな顔ぶれになりました。

一方、代表選考会の最後のレース、名古屋国際女子マラソン(三月九日)では、高橋尚子選手の代表への返り咲きが注目されましたが、誠に残念な結果となってしまいました。スタートして九キロメートル地点で失速、レース後初めて右ひざ半月板の手術をしたことが明らかになりました。

以前の師弟関係だった小出監督さえそばにいれば、あるいは小出さんに指示を仰げなかったのか、手術の判断や術後の医師とのネットワークは適切だったのかなど、さまざまな声が聞かれました。確かに小出さんさえいられれば、功を奏していたかもしれません。しかし、高橋選手は九キロメートルで絶望を引き受けたまま、その後二十三キロメートルを走ったのです。そして、自らの言葉で取り乱すことなく記者会見で立派でした。

こういふ立場になると往々にして悲劇のヒロインになったり、あるいは会見場に姿を見せず、裏口から姿を消してしまうものです。その点、自分で自分の落とし前をつけた姿には引き付けられました。

スポーツ選手の中には「生涯、監督やコーチのロボット」になってしまいう人も少なくないのです。人生はある意味で失敗だらけのものです。そしてその失敗をいかに自分で引き受けられるかがテーマです。そのスポーツをやめた後の方が、ずっとずっと長い・・・を思うと、今回のレースは惨敗ではありませんが、人生の失敗ではなかったと思えてきました。

高橋尚子選手の今後が楽しみです。

ノンフィクション作家

長田 渚左